

南中学区 イラストマップ



大館市立南中学校とチャレンジ活動

大館市立南中学校は、1965年に二井田(にいだ)中学校と真中(まなか)中学校が統合して誕生しました。

「チャレンジ活動」は、学校創立50周年を迎えた平成27年度、ふるさとへの感謝の気持ちを表したいと、当時の生徒会長たちの発案によって始められました。以来、地域貢献のためのさまざまな活動を、生徒会が主体となって企画し、全校生徒がグループ単位で取り組んでいます。創立56周年目から「チャレンジ55+(ゴーゴープラス)」に名称を改め、現在に至ります。

PRチームは、私たちのふるさと南中学区のよさを、市内外の方に知っていただくことで、地産地消の推進や、史跡見学等の来訪者の誘致につながることを願っています。

「すなおに ただしく はつらつと たくましく」
(校訓)

生徒数：60名(令和5年10月現在)
部活動：野球部、陸上部、男子卓球部、吹奏楽部
※特設部として相撲部、スキー部



企画・編集 大館市立南中学校 PRチーム

秋田県大館市二井田字小石台20
電話：0186-49-5516
FAX：0186-49-4882

なりたい自分を求め、
自ら考え判断し、行動する南中生

伝えたい…南中生の
オ・モ・イ



南中ハチ公生誕100年記念プロジェクト(2023年度)
「ハチ・あきたぬいイラストコンクール」グランプリ賞受賞作品(保育園児～中3)～歴史・文化担当



岩手県平泉中学校訪問 2022.May.26

ゴーゴープラス
チャレンジ55+



大館市立南中学校
チャレンジ
地域貢献活動

南中学校の学区はこんなところ ～歴史・文化・あじ～

ハチ公の生家・齋藤家



海外のオリンピック選手や著名人に秋田犬（あきたいぬ）が贈られるなど世界的ゲームになっている秋田犬。令和元年5月にはJR大館駅前に観光施設「秋田犬の里」がオープンしました。

さて、秋田犬といえば「忠犬ハチ公」。そのハチ公が、大館生まれということをご存じでしたか？

観光施設ではありませんが、「ハチ」の生家の齋藤家では、事前に連絡をしてくだされれば、農繁期を除いてできる限り対応させていただきます。

齋藤家は、大館消防署の交差点を二井田方面に進み、ところどころに設置してある案内看板を目印にしておいでください。秋田犬をモチーフにした公衆トイレ（冬季閉鎖）の向かいが齋藤家です。



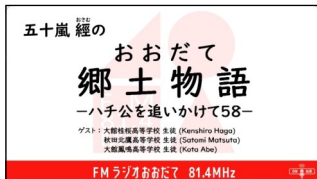
おおしな
大館市大子内三ツ梨61-1
齋藤良作さん宅
Tel 0186-49-0424
※自宅前に銅像、石碑あり

南中生、地元ラジオ局にレギュラー出演

「FM 81.4MHz ラジオおおだて」は、地元大館の話題を中心に番組をお届けしています。

「おおだて郷土物語～ハチ公を追いかけて」という番組では、令和3年から4年にかけて、本校3年生2名がレギュラー出演し、パーソナリティーの五十嵐経さんとハチ公談義に花を咲かせました。二人は高校に進学後も番組の最終回まで出演しました。各回の放送分（全58回）は動画サイトの「YouTube」で聴くことができます。

これだと日本全国（世界中？）どこでも聴けますね。



にしき にしきと

錦神社と西木戸神社

中世に栄華を誇り世界遺産の中華寺を建立した奥州藤原氏のしかし、源頼朝によって、四代藤原泰衡（やすむら）の代に滅ぼされてしまいます。

二井田は泰衡絶命の地といわれ、二井田の人々は泰衡の死を哀れんで塚をつくって供養をし、後に「錦神社」を建立しました。また、泰衡の後を追ってきた夫人が、夫の最期を知って、自ら命を絶ったといわれている場所（比内町八木橋字五輪台～「市民の森」の近く）もあります。そこは夫人の供養として五輪の塔が立てられ、後に「西木戸（にしきと）神社※個人宅」になったということです。

平泉・中華寺で約800年前の種子を開花させた「中華寺ハス」を、館（たて）町内会の住民が株分けしてもらい、神社敷地内で大切に育てています。

例年、7月半ば～8月半ばにかけて見事な花を咲かせます。機会があれば一度見にいらしてください。



じっごう

南中生の「直耕精神」は安藤昌益から

安藤昌益（あんどうしょうえき）は、1703（元禄16）年に、二井田村の農家に生まれました。昌益は京都に出て医術を学んだ後、開業医として八戸に移り住みます。そして、医師として人々とかかわる中で、すべての人が働いて、地域に貢献する社会（直耕の世の中）が理想であると考え、著書「自然真常道（しぜんしんえいとう）」や「統道真伝（とうどうしんでん）」によって、幕府による支配体制や身分制度を批判し、郷里の二井田に戻って60歳で没するまで、貧富の差のない平等な社会の実現を訴え続けました。

自然を大切に、自然と調和した生活を理想とする昌益の思想は、現代のSDGsにも通じる考えであり、世界で最初のエコロジストとして、今では世界中から注目されています。私たち南中生は、昌益の教えである「直耕精神」を、「自律と共生」という言葉に置き換えて、学校生活のスローガンとしています。

昌益のお墓は二井田の「温泉寺」にあります。ただし温泉ではありませんのでお間違えのないように。温泉ファンの方には共同浴場ではありますが、日帰り入浴施設の「ハチ公荘」もオススメです。

きりたんぼは、ぜひ南中学区のおいしいお米で

今でこそ大館市内きっての米どころとなっている二井田、真中地区ですが、実は歴史的には耕作困難地域であったのです。その困難を克服するために、地元の先人たちが、「三浦堰」の工事などで、粘り強く取り組んできました。

ここではおいしいお米を育てるために、有機栽培農法をはじめとする、さまざまな努力や挑戦を重ねています。かつて全国的に話題になった「アイガモ農法」も、いち早く取り入れたのもこの地区の「真正ファー」でした。



南中学区産の野菜・くだものもオススメ!!

秋田県の枝豆生産量は、全国1位（農林水産省「2019年度作物統計」）になったこともあるほど。大館市は県内でも有数の産地となっていますが、近年は量より「質」も重視する傾向があり、南中学区の農家も枝豆の生産に力を入れています。

本校のチャレンジ活動「SDGs班」は、地域の農家で収穫した枝豆の選別作業のお手伝いをしたり、選別で廃棄処分となる豆も原材料とした「枝豆クレヨン」を作り、資源の有効活用を図る取組をしています。



さて、大館産のくだものといえば秋の味覚「中山のなし」が有名ですが、南中学区にも「平泉果樹園」や「富樫りんご園」などの、果樹栽培農家があります。

南中学校の前を通る県道52号線を、真中公民館方向（西）に向かい、JA精米センター前を過ぎると、左手に、「直売所」の看板が見えてきます。「富樫りんご園」では夏場は「もも」、秋になると「りんご」を中心に直売もしています。

私たち南中生は、夏休み等を利用して農作業のお手伝いをする活動に取り組んでいて、生産している農家の方々の苦労や気持ちができるだけに、地元産の農産物を食べていただけると、自分のことのようにうれしいのです。



↑富樫りんご園での作業の様子

私たちが商品化した「ハチくんりんご」↑